

整理No.2015-59		労働災害状況調査表			
災害発生日時		2015年 5月 27日(水) 10時 30分 天候( 晴れ ) 温度( - °C)湿度( - %)			
災害区分		<input checked="" type="radio"/> 不休災害 <input type="radio"/> 休業災害 (休業:△日)			
被 災 者	部門	製造		雇用形態 <input checked="" type="radio"/> 正社員、派遣、契約、その他( )	
	年齢	43 歳	性別: <input checked="" type="radio"/> 男 <input type="radio"/> 女	勤続年数	8か月
	傷病名	左手中指第2関節切創			
	傷病部位	左手中指第2関節			
災 害 発 生 状 況	充填作業中、軍手着用にてゴムヘラを使用して 缶内側に付着した塗料を拭おうとした際、誤って 缶切断部に指が触れ切創した。		状況概略(写真orイラスト) 		
	災害の型 <sup>※1)</sup>	6. 切れ、こすれ		作業の形態: <input checked="" type="radio"/> 定常、非定常、その他( )	
	起因物:	石油缶		特記事項	
原 因 分 類	1.人的要因(man)				
	エッジ部がある状態で塗料のかき出し作業を行った。				
	2.物に関する要因(machine)				
	ゴムヘラの柄の部分の部分を短く持ち作業していた。				
3.環境要因(media)					
エッジ部への接触危険に対する意識が欠如していた。					
4.管理的要因(management)					
軍手を着用しており、エッジ部での切創防止保護具として機能していなかった。					
対 策	①石油缶開缶作業マニュアルの再教育実施。				
	②保護具仕様変更実施(軍手⇒皮手)。				
	③所員全員参加での災害状況再現による危険意識向上。				
	対策分類 <sup>※2)</sup> :1-2災害・事故の想定と対応、1-6教育、2-4危険認識				

※1) ①から選択

※2) ②から選択(複数可)